



自然科学探究 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 出前授業

日時 平成26年 6月 24日 (火)

参加者 1・2年生サイエンス・サーベイ・コース(SSC) 80名

内容

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 広報部 特任担当役 大嶋龍男氏 を招き、演題「日本のロケット開発と打上」の出前授業を実施しました。宇宙や宇宙関連技術、天文学等に関わる魅力と宇宙関連産業の創出に向けて、貴重な講演をしていただきました。



自己紹介をしていただきました。これからの研究者として必要なことは「英語力」と強調されていました。



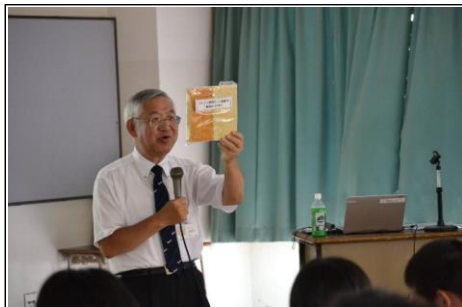
人類が初めて月へ降り立った時の貴重な新聞を見せていただき、興味と探求心をもつことの大切さを話されました。



「どこからが宇宙なのか」などの説明を聞き、重力から脱出するために必要な速度などをクイズで教えていただきました。



ロケットの構造について説明をうけ、宇宙空間で推進力を得るための原理について理解することができました。



できる限り軽くするために、いろいろな工夫がされている。回収されたフェアリングや断熱材は非常に軽いものでした。



ロケットの組立から打上げまでの映像を動画で見せていただきました。臨場感にあふれ、緊張感と達成感を感じました。



宇宙飛行士や宇宙産業に大切なこと、それは「チームワーク」「仲間を思いやる気持ち」であると教えていただきました。



「危険を冒してまで宇宙開発を行うのはなぜか」などの質問にも、丁寧に答えていただき、宇宙開発の意義を理解しました。



講演最後には、月周回観測衛星かぐやのデータから作られた「月球儀」をいただき、宇宙にさらに強い興味を抱きました。